

2022年度 事業計画書

【A】調査・研究事業

A-1 学校情報伝達システムの調査・研究

1. 通信づくり講習会、新聞教育指導者講習会等、教師又は大学の教職課程の学生を対象とした講習会を開催する。また、ビデオ会議システム(ZOOM等)を備え、時代に即した対応を実施する。
2. 学校における各種通信の教育効果についての調査・研究
 - ・GIGA スクール構想などを含む情報インフラの変化を見据え、通信活動のあり方を調査・研究する。
3. いじめのないよりよい学級づくりの調査・研究
 - ・はがき新聞を利用した学級力向上研究会等の研究活動を支援し、よりよい学級づくりの事例を集め、全国に伝播する。
 - ・前期に開催した、関東・中部・関西合同の「学級力向上プロジェクト オンラインフォーラム」を同じくオンライン方式にて開催する。内容は、研究会員及び一般公募者向けとする。

日時 2022年8月27日(土) 13:00~17:00(予定)

A-2 教師による自作教材の調査・研究

学習プリントをカラー化することによる教育効果や視覚的效果などについて調査・研究をする。
カラー化された研究成果を冊子化し授業ノウハウの共有化を図る。

A-3 児童・生徒による創作表現活動の調査・研究

1. はがき新聞の教育効果に関する調査・研究
 - (1)コンパクトテキストによる文章表現力育成についての研究
 - ・はがき新聞、言葉のポケット等の普及により、書く力の育成をサポートする。
 - ・はがき新聞を使ったコンパクトライティングによる教育効果向上を図る研究をする。(タブレットとのハイブリッド利用等)
 - (2)はがき新聞研究会によるノウハウ集約と実践の伝播
 - ・はがき新聞研究会合同部会
- 日時 2022年10月2日(日) 13:00~16:00(予定)
- ・「はがき新聞オンラインフォーラム」内容は、研究会員及び一般公募者向けとする。
- 日時 2023年3月27日(月) 13:00~17:00(予定)
- (3)地域における小規模フォーラム等の企画実施
 - ・各地の教育機関と連携し、地域に根ざしたフォーラム等を開催することにより、地域への情報提供を図る。

【B】情報提供事業

B-1 教育関連出版物の刊行

既存刊行物の増刷、再編集等

B-2 研究情報誌の発行

機関誌「季刊理想」の発行。内容充実のため、取材活動に基づいた(オンライン取材含む)を励行し、分かりやすく実践的な情報を盛り込む。

B-3 ホームページの運用

財団事業の告知や活動報告、情報開示のほか、プリントコミュニケーション活動に役立つ情報の提供をさらに充実させる。

- ・はがき新聞を分かりやすく解説したポータルページを新設し、はがき新聞への理解を深める。
- ・早稲田大学の森山卓郎教授監修のもと授業や自習に使えるコンパクト教材を企画・制作し掲載を検討する。

【C】助成・顕彰事業

C-1 後援・支援の事業

1. 文化芸術教育の充実に関する事業への助成

各地の教育委員会が主催する、学校における文化芸術活動の発展・充実と、児童・生徒の健全な育成を目的とする事業を支援する。

2. その他、プリントコミュニケーション活動、コミュニケーション文化の発展に関わる事業に必要な応じ助成・支援する。

C-2 新聞教育の普及・振興

1. 第72回「全国小・中学校・PTA新聞コンクール」の後援

主催：毎日新聞社、全国新聞教育研究協議会 上位受賞校に対し、理想教育財団賞と副賞を提供する。

2. 第63回「全国新聞教育研究大会」の後援

3. 地域の新聞教育に対する支援

- ・「岩手県小・中学校新聞コンクール」「きゅうでんはがき新聞コンクール」他、各地で開催されるコンクールを支援する。

C-3 日本人学校等への支援・助成

1. 児童図書への寄贈

海外日本人学校(補習授業校を含む)10校に対し児童図書を寄贈する。

2. 海外・日本語教育及び途上国への教育支援

C-4 コンクールの開催・顕彰

第17回プリントコミュニケーションひろばを新企画にて開催する。優れた通信の紹介から個性が光る通信の発掘への転換をメインコンセプトとした。新たに電子媒体を使った通信の部を新設する。

その他

2021年は GIGA スクール構想により概ね一人に一台の情報端末が配布され教育のデジタル化のインフラが整いつつある。一方、当財団の事業はほとんどが紙を使うアナログ的な事業である。そこで「授業づくり」や「学級づくり」支援活動にデジタルの良さを活かした改善を行い活動の質的向上を図る。